

トップ 東北ニュース 記事

▲▲ 山形のニュース

山形 社会

ツイート シェア

## 山形県内で相次ぐ固定資産税過大徴収 遅れる相続登記が原因？「長男が済ませる」思い込みか

山形県内の11市町で7月以降、不動産相続に関連して固定資産税を過大に徴収したミスが相次いで発覚した。相続登記未了の土地や家屋などは相続人全員の共有資産として課税する決まりなのに、いずれも相続代表者の個人資産と合算して課税したのが原因だ。背景には資産価値の低下や家族関係の変化で、相続登記が遅れがちになっている実態がありそうだ。（山形総局・岩田裕貴）

「昔前は相続代表者の長男がすんなり相続登記を済ませるケースがほとんどだった。そうした思い込みによる運用が続いたのではないか」。過大徴収が発覚した自治体のうち、上山市など複数の市町からこうした見方が浮上している。

現行の不動産登記法は相続登記を義務付けていないため、過疎地を中心に登記未了の土地や建物は増加傾向にある。「相続代表者が間もなく登記するはず」との前提で徴税事務が行われていたとすれば、今回のようなミスは多発する。

各自治体による2019年度の固定資産税の過大請求は表の通り。米沢市が7月下旬に初めて公表して以来、8月後半から連日のように課税ミスの発表が続く。

ほとんどの市町で誤った徴収事務がいつ始まつたかは分かっていない。「問題意識を持たず、前例を踏襲していた」（米沢市）というケースが多い。

総務省は13年度、同様のミスを含む事務処理の注意点について通知を出し、市町村は県を通じて情報提供を受けていた。県は事態を重くみて、各市町村に実態の聞き取りを始めたが、山形市など内部調査中の自治体も多く今後、新たにミスが発覚する可能性もある。

空き家問題に詳しい明海大不動産学部（千葉県浦安市）の周藤利一教授は「資産価値が低く、売買もできない土地や建物を相続した場合、時間と金をかけて登記するメリットはない。相続制度という徴税事務の前提が崩れ、現実と乖離（かいり）している」と指摘。「相続登記の義務化に加え所有者の戸籍、死亡情報などを一元的に管理するシステム整備が必要だ」と提言する。

関連ページ: [山形 社会](#)

2019年08月31日土曜日

ツイート シェア



固定資産税の過大請求が最初に明らかになった  
米沢市税務課

拡大写真

△山形県内の固定資産税過大請求  
(2019年度徴収分)

自治体	公表日	対象人数	誤徴収額
米沢市	7月26日	1,789	220万8000円
尾花沢市	8月9日	556	64万円
大石田町	8月9日	277	27万円
上山市	8月19日	1,385	170万円
南陽市	8月21日	500	80万円
村山市	8月21日	294	32万円
飯豊町	8月22日	370	30万円
天童市	8月23日	975	100万円
高畠町	8月26日	850	91万円
川西町	8月27日	1,003	114万円
河北町	8月29日	107	7万5400円

（注）一部は対象人数、誤徴収額を概算値で公表。都市計画税を含む市町もある

拡大写真

新着情報

新着情報一覧

うたの泉(1031)世界一ほうらい線がかっこいい 男ぞボール・マッカートニー

独眼竜政宗／マンガ／第222話 天下分け目ドタバタ発進

独眼竜政宗／楽屋／第222話について

独眼竜政宗／番外／お知らせ「戦国の伊達氏—植宗から政宗へ」9月1日（日）まで

＜次世代塾＞「実践的な訓練大切」／受講生、教訓学び意義実感

河北書道展  
9月1日(土)~8日(日) TFUギャラリーミニモリにて開催

とうほく創生Genkiプロジェクト

河北就職ナビ2020  
新卒・既卒・転職希望の皆さんへ  
宮城・東北の優良企業からのメッセージ

大学特集「学都仙台で学ぼう！」  
大学9校のオープンキャンパス情報や先輩学生の声、仙台圏での生活情報も満載！

宮城の赤ちゃんへ贈ります「すくすくばこ」好評受け付け中！

仙台圏の生活情報満載！河北ウイークリーせんだい

Job探：仙台・宮城の求人情報

今できることプロジェクト2018

みやぎのいいものご案内！47CLUB

ベガルタ仙台情報、決定版！「ベガモ」

杜の園書サロン

デジタルチラシサービス「shufoo」

LINEスタンプ「かほビヨンとなかまたち」

宮城県からのお知らせ

みやぎ復興情報ポータルサイト

スマイルとうほくプロジェクト